



つたがたけ
初春の羅ヶ嶽(城山)と釣川

豊かに緑したたる 父なる城山
 清涼の波 絶えることなく 母なる釣川
 今 十八(区)の子ら 父母の里に集まり
 輪になって なごみ(和) かたろう(話)
 平和に 榮えあれ 赤間地区コミュニティ

松美台・田久・栄町
 赤間地区コミュニティだより
 赤間・三ツ子・赤間一区・二区・三區・四區・五區・六區・七區・八區・九區・十區・十一區・十二區・十三區・十四區・十五區・十六區・十七區・十八區・十九區・二十區・二十一區・二十二區・二十三區・二十四區・二十五區・二十六區・二十七區・二十八區・二十九區・三十區・三十一區・三十二區・三十三區・三十四區・三十五區・三十六區・三十七區・三十八區・三十九區・四十區・四十一區・四十二區・四十三區・四十四區・四十五區・四十六區・四十七區・四十八區・四十九區・五十區・五十一區・五十二區・五十三區・五十四區・五十五區・五十六區・五十七區・五十八區・五十九區・六十區・六十一區・六十二區・六十三區・六十四區・六十五區・六十六區・六十七區・六十八區・六十九區・七十區・七十一區・七十二區・七十三區・七十四區・七十五區・七十六區・七十七區・七十八區・七十九區・八十區・八十一區・八十二區・八十三區・八十四區・八十五區・八十六區・八十七區・八十八區・八十九區・九十區・九十一區・九十二區・九十三區・九十四區・九十五區・九十六區・九十七區・九十八區・九十九區・百区

創刊号
 平成16年4月1日
 発行/
 赤間地区コミュニティ
 運営協議会広報委員会
 TEL・FAX/
 0940-32-5640
 印刷/企画 萌
 TEL 0940-32-5662
<http://www.munakata.jp/wawawa>

昨年十月十九日に赤間地区
 コミュニティ運営協議会の設
 立総会を開催してからはや半
 年経過しました。この間、五
 つの部会と役員会はほぼ毎月
 開催、運営委員会(二十八人
 も既に二回開催し、実質的に
 は、平成十六年度から積極的
 に事業を展開するため、熱心
 に検討を進めております。
 宗像市のコミュニティ推進
 事業は、旧宗像市域八地区、
 旧玄海町域四地区の十二地区
 でコミュニティ・センター
 (コミセン)を中心に、地域
 住民の自主性と連帯性をもつ
 て近隣社会を構築する、住民
 自治活動を目的にコミュニティ
 を推進するものです。赤間
 地区は、赤間小学校区十八行
 政区の住民によるコミュニテ
 イ地区を構成。コミセン建設
 計画は、平成十六年度用地買
 収、平成十七年度土地造成・

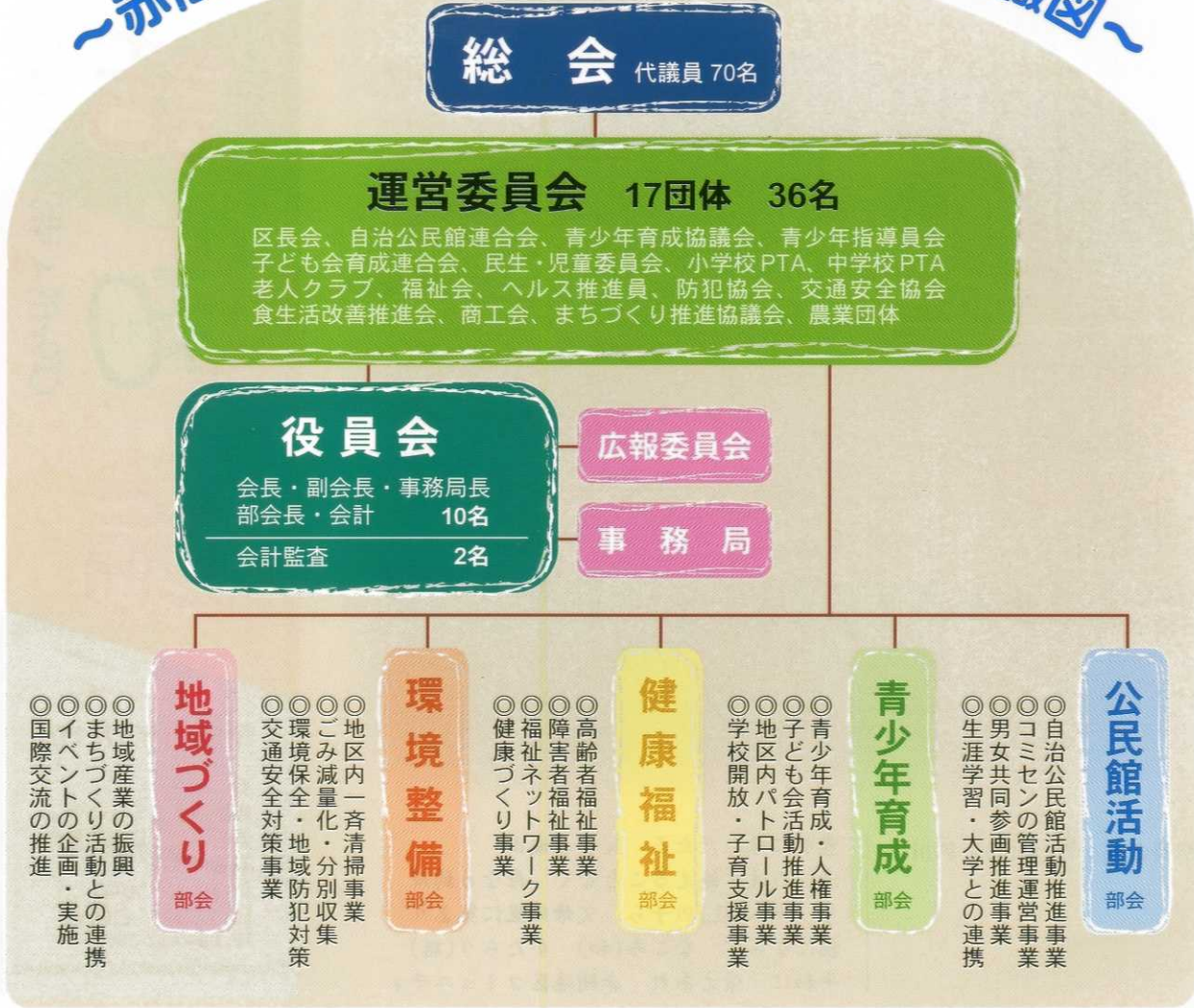
■会長あいさつ
 創刊によせて



平成十八年度コミセン建物の
 建設と公園の整備、平成十九
 年四月にオープンする計画で
 す。地方分権が叫ばれている
 今日、コミュニティの推進は
 「地域分権確立」の道であり、
 地域住民が自ら将来のまちづ
 くりを企画し相互協力して、
 人づくり、地域づくり、コミ
 ュニティづくりの計画的な実
 現にむけて活動を展開するこ
 とが、市政の効果的な推進
 に協力することになり、宗像
 市の市勢発展に大きく寄与す
 るものと考えます。さらに赤
 間地区住民のコミュニティ意
 識を高め、近隣住民としての
 連帯を深めるため広報活動の
 充実が必要と考えておりま
 す。したがって、この度赤間
 地区コミュニティだより「話・
 和・輪(わーわー)」創
 刊号発刊の運びとなりました。
 当面年三回の発行の予定
 です。別に事務局だよりも発
 行します。皆さんに愛される
 広報紙となるよう、皆さんの
 ご意見をお待ちします。

赤間地区コミュニティ
 運営協議会
 会長 西山 功

～赤間地区コミュニティ運営協議会 組織図～



赤間地区コミュニティ運営協議会 設立総会

◆まちづくり推進協が基礎
 赤間校区のコミュニティ活動は、平成十年に行政区長会（十八区）を中心に、校区内各種団体の代表により「赤間地区まちづくり推進協議会」を設立したときから始まります。平成十二年には地区活動の指針となる「赤間地区まちづくり振興計画」を策定しました。平成十四年八月に市から委託を受けて、まちづくり協議会を中心に「赤間地区コミュニティ準備委員会」を設立。赤間区公民館内に事務局を置

明るく住みよいまちづくりを目指して
 赤間地区コミュニティ運営協議会が活動開始

◆設立総会で活発な意見
 平成十五年十月働く女性の家で代議員（七十名）による設立総会を開催、たくさんの方の質問や意見が出され、コミュニティに対する関心の高さがわかりました。

◆コミセン建設に向けて
 赤間地区のコミュニティ・センター（コミセン）は、平成十九年四月オープン予定で建設計画を進めます。今年度は用地買収にかかります。このコミセン設計に、地域住民皆さんの意見や要望を反映するため、今年度はワークショップを実施する計画です。

◆部会中心に事業計画
 五つの部会（三ページで紹介）が中心に、今年度の活動計画や予算を検討しております。各部会の各構成団体の事業も継続しながら新規事業を実施していきます。

公民館活動 部会

設立総会から六ヶ月近く過ぎました。当部会はまだ平成十六年度の活動方向性は協議中です。今年度の重要テーマは自治公民館活動をおこなっていない地域と連携して行事を行っていくことです。同じ土俵に上って地域住民が一緒になってコミュニティの真髄である輪を広めたいと思います。活動は自治公民館連合会を柱に子どもから高齢者まで参画できる行事に取り組んでいきます。

部会長 永島 恒茂

青少年育成 部会

大人のモラルの低下と共に、大人が基本を教えなければ、子どもは「何でもありだ」と考えてしまいます。また、家庭生活の意義をしつかり伝え、健全な家族をつくるのは日々の努力の積み重ねであり、決してコンビニ化してはならないものです。

青少年育成部会では、青少年指導員会(二名)、子ども会育成連合会(一名)、赤間小PTA(二名)、城山中PTA(二名)、主任児童委員(二名)、体育指導員(一名)、青少年育成協議会(二名)、以上、十二名の部会員構成で各育成団体の十分な協議のうえ、モノ化した生活習慣病の中から子どもたちに手をさしのべ、心のニユートラルを求め、地域ぐるみの子育て、抑止と啓発活動を推進いたします。

部会長 高原 弘文

健康福祉 部会

健康福祉部会は、民生・児童委員会、福祉会、ヘルス推進員、食生活改善推進会、老人クラブの五団体より構成されています。高齢化が進む中で、心身共に健康で生き生きとした生活ができるように、地域に根ざした福祉・健康づくりを推進しています。活動内容としては、高齢者や障害者の福祉ニーズの把握・相談及び行政・関係機関とのパイプ役につとめています。また社会活動として、地域奉仕活動・あいさつ運動・子どもとの世代交流を通して、ふれあいネットワーク活動の拡充をはかっています。また、健康づくり事業として、健康教室(講演会・健康体操・歩こう会・健康料理教室などを開催し、健康・福祉のまち『あかま』をめざしていきたいと思っております。

部会長 中山 九十九

環境整備 部会

環境整備部会は、①地区内の一斉清掃や美化運動、②ごみ減量化や分別収集など環境保全対策、③地域防犯・防火対策、④交通安全対策、等の活動内容を担当します。この部会の構成団体は、区長会、防犯協会、交通安全協会、消防団となっております。部会役員は八名です。部会では平成十六年度度の活動計画・予算等を検討しておりますが、清掃活動、花による美化運動、犬の糞害対策、生ゴミのクラス・猫対策、防犯・防火・交通安全等のパトロール、予防対策やマナーアップ運動。さらに消防施設や防犯灯等の整備点検、通学路や障害者の安全対策としてバリアフリー対策。道路・側溝などの補修改善要求など、活動範囲が広いため沢山の課題が出されました。部会としては、できるものから計画的に実施する考えです。

部会長 林 利雄

地域づくり 部会

地域づくり部会は、①商工業や農業など、地域産業の振興、②まちおこしや地域活性化など、まちづくり活動の連携と推進、③大道芸まつりや赤間宿まつりなど、地域の祭りとの連携やイベントの企画・実施、④各大学の留学生など国際交流の推進、などの活動内容を担当します。この部会の構成団体は、商工会赤間地区の代表、農業委員会委員や農協理事など農業団体の代表に、今まで赤間地区の地域振興やイベントを推進してきた、赤間地区まちづくり推進協議会も構成団体として入っております。二月の赤間宿まつりには、この部会が中心的役割を果たしました。平成十六年度は「赤間地区の歴史・観光ガイドブック」の編集発行を計画しております。もちろん大道芸祭りなどのイベントも実施します。

部会長 出光 重美



赤間地区（十八行政区・人口一万四千人）は宗像市の南東部に位置し、北に城山、南に釣川が流れ、温暖な気候・自然の恵み・人情豊かな農業生産活動を主とする地域です。

一方で、交通機関にJR教育大前駅と西鉄バス赤間営業所があつて、北九州・福岡両都市圏、さらには筑豊地区の接点に当たり、三方面との交流が多い経済活動の盛んな地域でもあります。

歴史的には古い伝統を誇る地域で、「赤間」の由来も、古代に赤い馬に乗った神様が神武天皇の道案内に立ったということから「赤馬」後に「赤間」となったという伝説もあります。街道についても、古代官道であった芦屋往還が江戸時代に唐津街道として整備されて、「赤間の宿」となり、「五脚西遷」・「節婦お政」などの史話とともに地域の風土や祭りの中に今だにその面影

を残しています。

今日では、地区内に「福岡教育大学」を始め三大学があり、市内有数の学園都市であります。大きな工場や商業ビルはありませんが、地域内各所で住宅街の開発が行われ、人口が年毎に急増中で、行政区の新設が続いて、新旧の住民がともに手を取り合つて地域づくりを進めている、若い世代の地域でもあります。



編集後記

創刊号をお届けします。

ご意見・ご感想などごしりお寄せください。

平成十五年度の広報委員を紹介いたします。

- 占部玄海、井手新、仲尾等、後藤隆則、小方美香、立石稔、赤司勇、吉田義男、清水陸美、實田照香。

